

# 道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号 <sup>まつえ</sup> 松江道路	事業主体	中国地方整備局
所在地	島根県八束郡東出雲町 <sup>やつか ひがしいずもちょうあだかえ</sup> 出雲郷 ~ 島根県八束郡玉湯町 <sup>やつか たまゆちょうゆまち</sup> 湯町		
事業概要	<p>一般国道9号は、京都市を起点として、山陰地方の主要都市を經由し、下関市に至る延長約650kmの主要幹線道路である。</p> <p>松江道路は、松江市内並びに玉湯町内の慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、延長13.7kmの道路である。</p>		
事業着手	昭和47年度		
総事業費	約940億円	既投資額	平成14年度末まで 約790億円(進捗率84%)
再評価の必要 性の関 する視 点	<p>ア)事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>松江市中心部を東西に貫く国道9号は、交通量の増加により、慢性的な交通混雑が生じていたが松江道路の整備により、現道の交通混雑緩和が図られた。</p> <p>しかし、近年では松江道路の沿道への工業団地、商業施設、住宅等の開発により、松江道路の交通量が増加し、慢性的な交通混雑や交通事故が生じている。また、玉湯町内においても近年の交通量の増加並びに通過交通と圏域内交通が輻輳し、慢性的な交通混雑が生じ住民生活に支障を与えている。</p> <p>平成13年3月 淀江大山IC ~ 宍道IC間の自動車専用道路が供用</p>		
	イ)費用便益分析		
	道路事業に要する費用		道路整備による便益
	<p>・総費用</p> <p>評価対象期間内 = 整備期間 + 40年</p> <p>総事業費 940億円</p> <p>部分供用に要した事業費 680億円</p> <p>残区間整備に必要な事業費 260億円</p> <p>現在価値換算事業費 248億円</p> <p>事業費 248億円</p> <p>維持管理費 45億円</p> <p>総費用 + = 293億円(C)</p>		<p>走行時間 短縮便益 876億円</p> <p>走行経費 減少便益 99億円</p> <p>交通事故 減少便益 38億円</p> <p>・総便益 + + = 1,013億円(B)</p>
	費用便益分析の結果		B / C = 3.5
<p>「費用便益分析マニュアルによる」 (H10.6.26付け建設省道経第14号通達)</p>			

事業名	一般国道9号 <sup>まつえ</sup> 松江道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>ウ)事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <p>昭和47年度 事業着手</p> <p>昭和52年度 用地買収着手</p> <p>昭和55年度 工事着手</p> <p>平成元年 3月 古志原地区 1.2km(4/4)開通</p> <p>平成元年 3月 都市計画変更(東出雲～玉湯町布志名 自動車専用道)</p> <p>平成3年 3月 古志原地区～松江西IC 2.1km(2/4)開通</p> <p>平成3年度 事業着手(布志名地区ランプ部、玉湯工区B P部)</p> <p>平成5年 3月 松江東IC～古志原 1.3km(2/4)開通</p> <p>平成10年 4月 松江西IC～布志名ランプ部 0.7km(2/4)1.1.km(2/2)開通</p> <p>平成10年度 事業再評価</p> <p>平成12年度 事業着手(玉湯工区 現拡部)</p> <p>都市計画決定(玉湯工区)</p> <p>平成13年 3月 東出雲～松江東IC 4.3km(2/4)開通</p> <p>平成13年度 用地着手(玉湯工区)</p> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p>工事の進捗状況</p> <p>再評価時の事業進捗は、約66%であったが、段階的に整備を進め平成12年度末までに、東出雲IC～布志名ランプ間の延長約10.9kmを暫定供用したところである。</p> <p>また、平成14年度末までの進捗率は約83%である。</p> <p>用地補償の状況</p> <p>再評価時の用地進捗率は約87%であったが、平成11年度までに東出雲IC～玉湯町布志名間の用地買収を完了するとともに平成14年度末までに全体の約94%の用地買収が完了している。</p>	

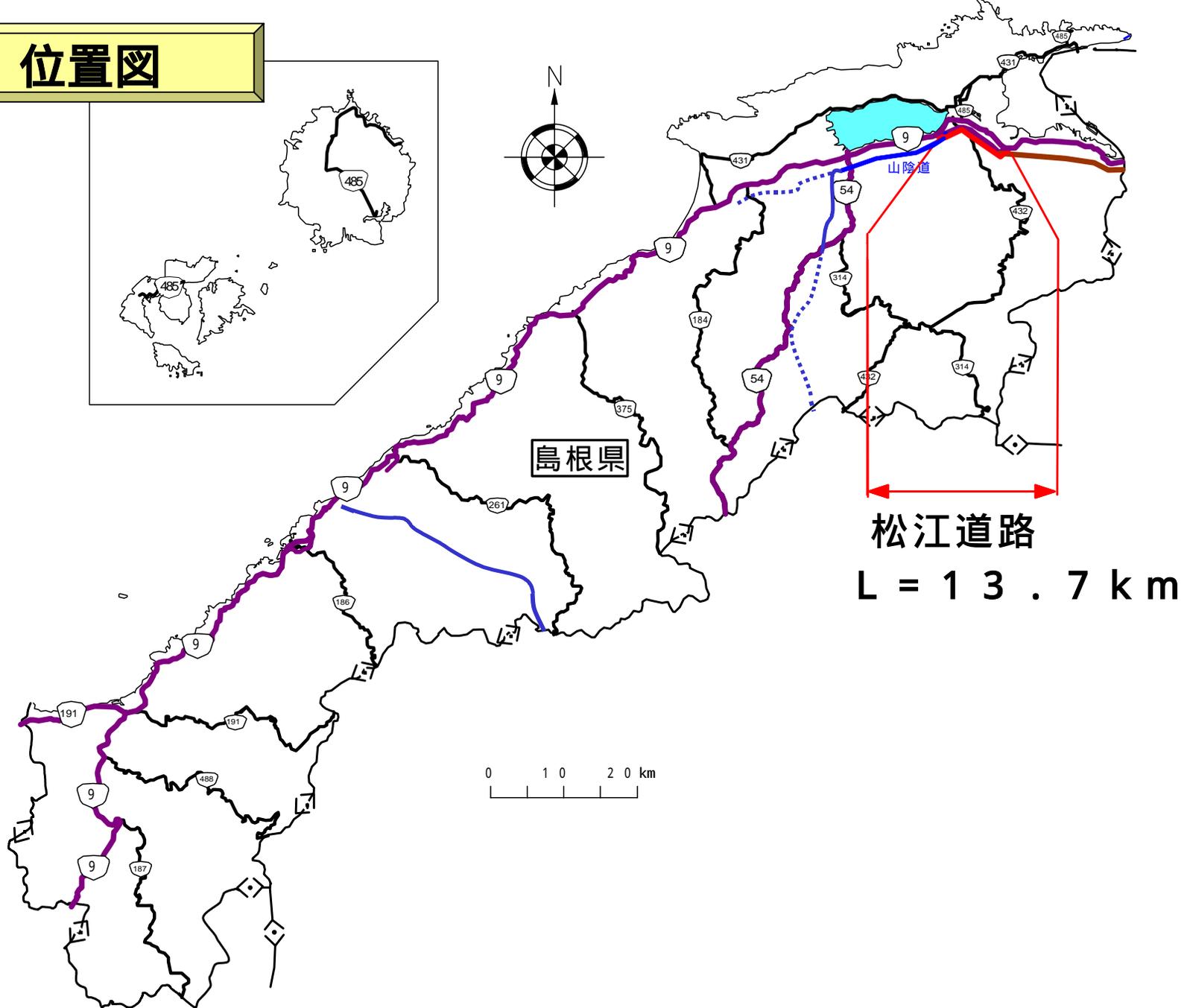
事業名		一般国道 9号 <sup>まつえ</sup> 松江道路	事業主体	中国地方整備局
再 評 価 の 視 点	事業 進捗の 見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地の進捗見込み 現在玉湯工区の用地買収を促進しているところであり、平成15年度末には98%になる見込みである。</li> <li>・工事の進捗見込み 現在、松江東ランプ部の橋梁工事を促進しているところである。 また、本年度は、玉湯工区の改良工事に着手する予定である。</li> </ul>		
	コス ト縮減 や代替 案の可 能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐鋼性鋼材を採用し、鋼橋を無塗装化することにより、コスト縮減を図った。</li> <li>・建設副産物の発生抑制や再生利用等により今後ともコスト縮減に努めることとしている。</li> </ul> <p>また、 の視点により事業の見直しを図る必要はないと考えている。</p>		
今後の対応 方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続 平成16年度の松江東ランプ部L = 1.6kmの開通を目指し事業を推進する。 平成18年度の玉湯工区L = 2.8kmの供用を目指し事業を推進する。</li> </ul>		

# 一般国道9号 松江道路

平成15年9月

国土交通省 中国地方整備局

# 位置図



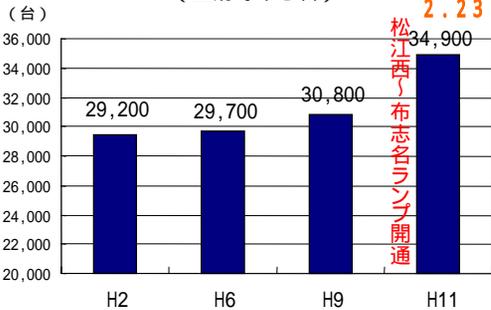


# 現道状況

松江道路の全線暫定供用により、現道の交通量は減少。  
 松江道路の交通量は、全線暫定供用により大幅に増加。  
 玉湯町の交通量は、山陰道の開通により若干減少したが、依然として交通量は多く交通混雑も著しい。

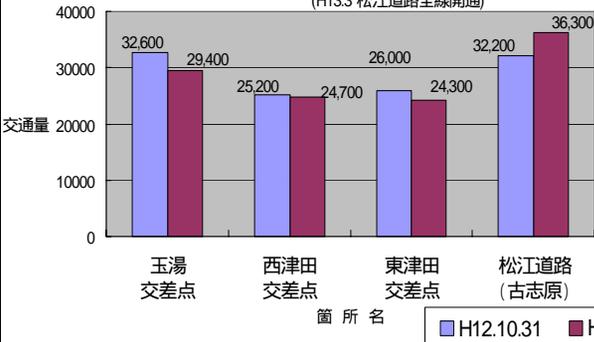
国道9号交通量の推移（24時間平日）

（玉湯町布志名）

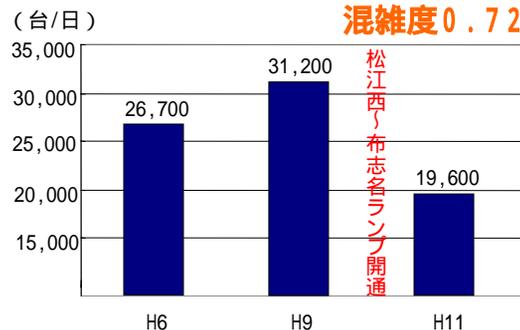


出典：各年 道路交通センサス  
 H11観測地点は玉湯町湯町

松江道路開通による交通量変化  
 (H13.3 松江道路全線開通)



国道9号交通量の推移（24時間平日）  
 （松江市乃木福富）



出典：各年 道路交通センサス  
 H6観測地点は松江市西島3丁目

松江道路（本線）交通量の推移（24時間平日）  
 （松江市浜乃木6丁目）

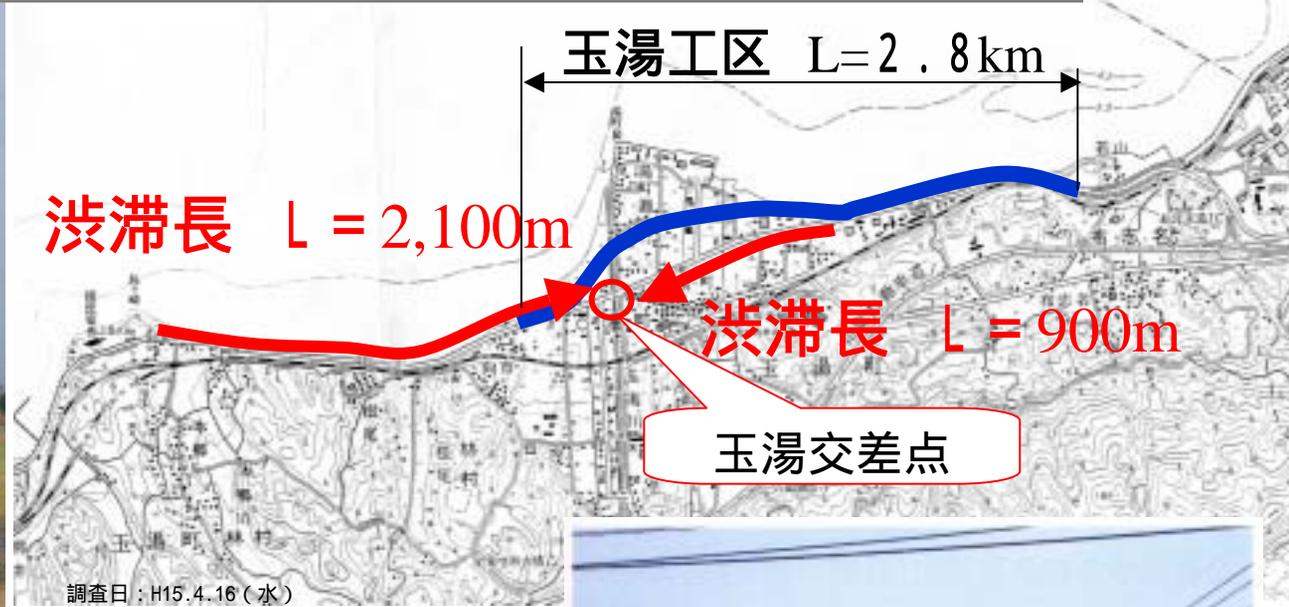


出典：各年 道路交通センサス



# 現道状況

玉湯交差点では、朝ピーク時には最大で2,100mの渋滞が発生し、周辺住民の生活にも多大な影響を及ぼしている。



玉湯交差点付近の渋滞状況

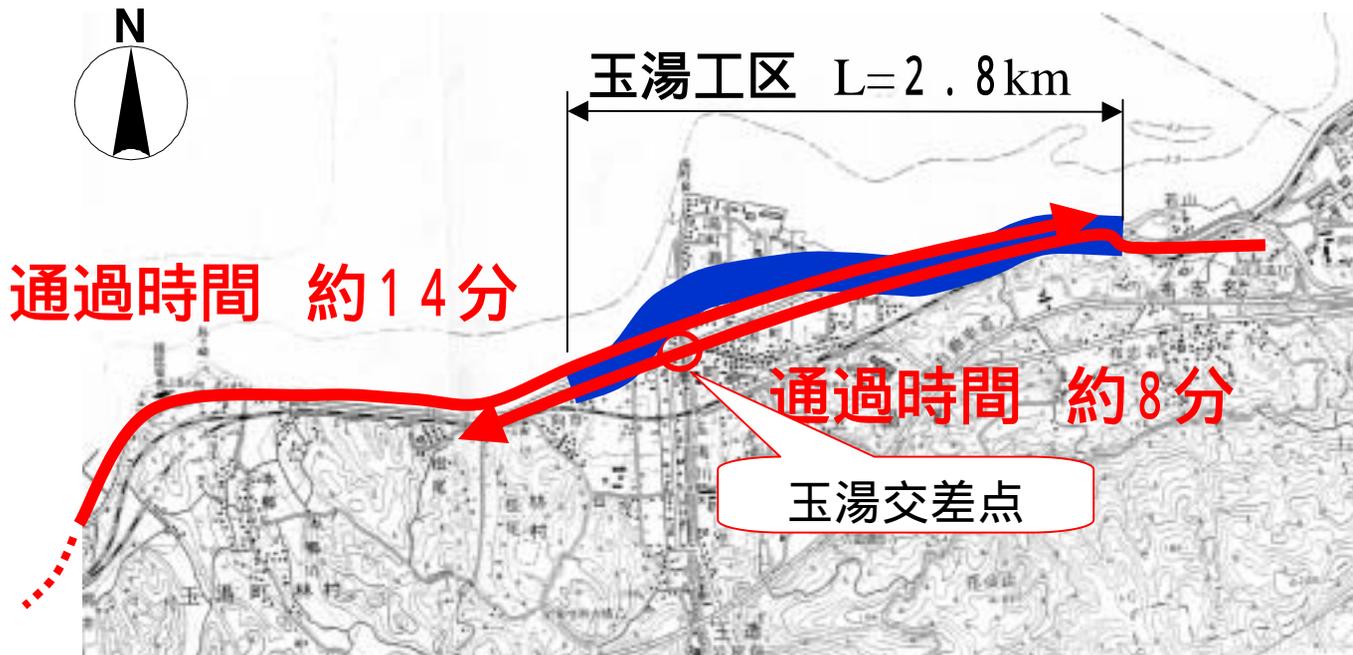


玉湯交差点より西側の渋滞状況



# 整備効果(時間短縮)

玉湯工区の整備により時間短縮が図られ救急活動や観光・産業等の支援を行い地域の活性化が図られる



玉湯工区の整備による時間短縮効果【平日朝ピーク時】

(松江方面) 速度低下区間 約6km

現況

14分

整備後

6分

8分短縮

玉湯工区の整備による時間短縮効果【平日夕ピーク時】

(出雲方面) 速度低下区間 約3km

8分

3分

5分短縮

調査日:H15.5.13(火)